

株式会社 藤林屋

Communication on Progress

■対象期間:2012年1月から12月

■トップステートメント

私は企業の代表者として、国連グローバルコンパクト(UNGC)が提唱する10原則に伴う活動を継続して支持し、実行します。また、この活動を通して、持続可能な社会に貢献してまいります。

2013年3月15日

代表取締役 佐渡友俊夫

■人権分野に関する活動報告

本年度の活動目標・内容	結果・評価	来年度の活動目標・内容
従業員一人当たりの期間的労働時間や休暇を適切に管理している。時間外労働や休日出勤が常態化せず限定的であること、常識的な休憩時間がとれることを確保している。	授業員が休日出勤をした場合には近日中に代休を取っていただいた。休息時間は合計1時間以上確保した。 しかし、海外旅行等に必要なが長期休暇が安心して採れる環境の整備とまでは行かなかった。	数年に一度は、正規の休日のみならず、1週間～2週間の休暇を取っていただくことの出来る環境を整備します。

■労働分野に関する活動報告

本年度の活動目標・内容	結果・評価	来年度の活動目標・内容
従業員の健康管理徹底、	健康診断は、正規・非正規雇	感染症、インフルエンザ等か

健康診断の全員受診。いかなる形でも強制労働や児童労働を行わないことを保証するため、必要なあらゆる措置(就業前の労働契約、休憩時間の設定、時間外勤務手当の支給等)をとっている。	用に関わらず受診しました。労働契約、休憩時間の設定は規定通りに行いました。	からないように予防の徹底。労使間での労働契約の確認を再度徹底します。
-----------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------	------------------------------------

■環境分野に関する活動報告

本年度の活動目標・内容	結果・評価	来年度の活動目標・内容
生物多様性や天然資源の持続可能性について推進をしていく。	松本JCの提唱する“松本レシピ”に基づいた植樹を行いました。また、地物の伝統的な野菜を積極的に用いています。	産業災害や有事のため、少なくとも年1回は、全従業員が参加する防災訓練を実施するなど、事故や災害に対する従業員教育を実施している。

■腐敗防止に関する活動報告

本年度の活動目標・内容	結果・評価	来年度の活動目標・内容
腐敗防止に関して明確な立場(社長の非関与宣言、法令遵守等)をとっている。	経営者・従業員ともに社内の腐敗に繋がるような、顧客や業者とのやりとりは認められなかった。	会社の腐敗防止に対する姿勢を従業員に周知し、腐敗防止に関して関係者が適切な教育を推進している。

■その他の活動(社会貢献・組織活動への参加)

- 地域の社会貢献活動として、地域の環境欲全活動に参加した。

- 日本青年会議所の講演・勉強会に参加した。
- マラリヤ撲滅運動へ参加した。(JCI Nothing But Nets キャンペーン等)
- 地域の資源リサイクル活動に参加した。

等

■この COP の報告内容は、国連グローバルコンパクトの WEB サイトと自社 WEB サイトにて掲載する。

以上